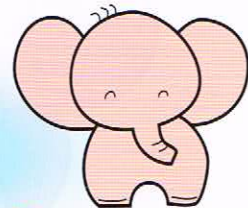
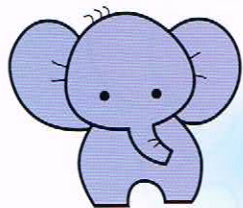


第17回 小象の会生活習慣病予防治療フォーラム



《特別企画第3弾》

あなたは大丈夫?

ロコモティブシンドローム

主催: NPO法人小象の会
(正式名称: 生活習慣病防止に取り組む市民と医療者の会)

日時: 2015年2月15日(日)午後1時~4時30分
(午後0時30分開場)

場所: 千葉市民会館小ホール
千葉市中央区要町1-1 JR千葉駅から徒歩7分

電話: (043)224-2431

参加費: 無料

定員: 250人(申し込み順)お申し込み方法は裏面へ



プログラム

総合司会 柳澤葉子(柏戸病院 内科)

13:00/開会:開会挨拶 篠宮 正樹 理事長(西船内科院長)

13:10/講演:司会 栗林 伸一 副理事長(三咲内科クリニック院長)

I『医者だけで糖尿病は治療できません』

~当院糖尿病チームの院内外での取り組み~

演者:大西 俊一郎 氏(旭中央病院糖尿病代謝内科医長)

II『動ける体と食事』

演者:釵持 登志子 理事(元君津中央病院臨床栄養科長・医療技術局次長)

14:10/休憩

14:20/特別講演:司会 内田 大学 理事(ほたるのセントラル内科院長)

『ロコモティブシンドローム』

演者:村永 信吾 氏(亀田総合病院リハビリテーション事業管理部部長)

15:30/質疑応答・討論

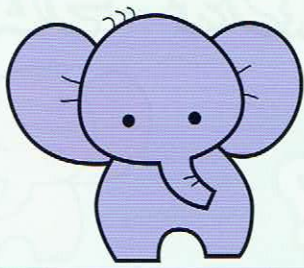
『生活習慣病とロコモティブシンドローム』

村永信吾氏 大西俊一郎氏 釵持登志子氏 栗林伸一氏 内田大学氏

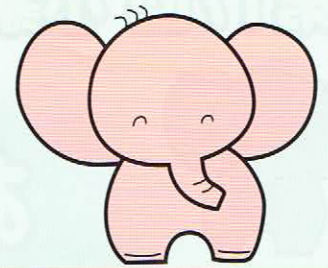
16:20/閉会挨拶 栗林 伸一 副理事長

後援:千葉県 千葉県教育委員会 千葉市 千葉県医師会 千葉市医師会 千葉県歯科医師会
千葉県薬剤師会 千葉県看護協会 千葉県栄養士会 千葉県臨床検査技師会 千葉県糖尿病協会
千葉県糖尿病対策推進会議 健やか未来都市ちばプラン推進協議会 千葉日报社(一部団体は現在申請中)

本講演会はCDE-Chiba(千葉県糖尿病療養指導士/支援士)認定更新のための研修会 3単位の認定を受けております。



特別企画趣意



ロコモティブシンドロームは骨や関節、筋肉などの運動器の障害により、要介護の状態になったり、要介護のリスクが高い状態になることを指します。ロコモの原因には運動器自体の疾患と加齢による運動機能不全があります。2009年の推計では患者は4,700万人に上るとされていて、日本の国民病とも言えます。ロコモは健康寿命の短縮の大きな要因と言われています。またメタボリック症候群や認知症とも関連することがわかっています。ロコモを予防し寝たきりにならない、自立した生活を送るためにできることは何か考えてみましょう

演者紹介

講演 I 大西 俊一郎 氏 旭中央病院糖尿病代謝内科
2005年 千葉大学医学部卒業 東京逡信病院勤務
2007年 君津中央病院
2009年 千葉大学医学部附属病院糖尿病代謝内分泌内科医員
2013年 先端生命科学専攻細胞治療内科学博士課程修了
2014年 総合病院国保旭中央病院 糖尿病代謝内科医長

講演 II 鈿持 登志子 氏 小象の会理事
元君津中央病院臨床栄養科長、医療技術局次長。2012年3月に定年退職後、木更津看護学院および千葉県立保健医療大学で非常勤講師として看護師と管理栄養士の教育に携わる。

特別講演 村永 信吾 氏 亀田総合病院リハビリテーション事業管理部
1983年 鹿児島大学教育学部卒業
1987年 国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院卒業
1987年 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院入職
1994年 筑波大学大学院医科学修士課程終了
2003年 昭和大学医学部研究生 博士(医学)取得
2004年 亀田総合病院 リハビリテーション事業管理部部長
現在に至る

お申し込み方法

はがき、電話、ファックス、Eメールで右記に、連絡先を明記の上、お申込み下さい。
(定員を超えた場合にのみ、ご連絡します。)
なお、席に余裕があれば当日参加も受け付けます。

小象の会事務局

〒260-0808 千葉市中央区星久喜町946番地の7
電話:043-263-1118
F A X:043-265-8148
e-mail:naika@2427.jp